



それでは発表を始めます。

今年の8月13日から27日の2週間、私たちはアメリカのジョージア州にあるジョージア大学に研修に行ってきました。

獣医放射線研究室の和田先生と私たち10人の学生が参加しました。

それに加え、鹿児島大学からの高橋先生と廣田さん、山口大学から正司さんが参加し、計14名で大変賑やかな研修をすることができました。

## GEORGIAってどんなところ？



ジョージア州はアメリカの南東部にある州で、研修期間の8月は日差しがとても強く、気温が35度を超えることもしばしばありました。

しかし、湿度はそれほど高くなかったせいか、あまり暑苦しいとは感じませんでした。  
(□ ジョージア州は桃の産地として有名で25セント硬貨や車のナンバープレートにも桃が描かれていました。

(□ 南北戦争を題材にした「風と共に去りぬ」の舞台として有名であり、他にも、コカコーラやCNNの本社があることでも知られています。

# ATHENSってどんなところ？



ジョージア大学があるのは州都であるアトランタから車で約1時間ほどの距離にあるアセズにあります。

(□ 大学前のダウンタウンには、洋服屋や雑貨屋が多くあり、日本では見ないようなデザインの商品が多くありました。

レストランやバーなどが充実しており、夕食や飲みによくダウンタウンまで行きました。

夜の9時頃まで外は明るく、治安も悪くないので安心して街を歩くことができました。



ジョージア大学は1785年に設立された州立大学で全米で最も古い歴史をもつ州立大学の1つです。

英語でいうと「University of Georgia」ということで、UGAという名前で親しまれています。

学生数は学部と大学院を合わせて約35000人もいます。アメフトを始め、テニス、水泳、陸上競技、バスケット、野球などが盛んで、これらジョージア大学のスポーツチームを「ジョージアブルドックス」といい、そのマスコットキャラクターがこのブルドッグのアガ(Uga)で、大学内だけでなく、スーパーマーケットの一角にもアガのグッズショップがあったり、「G」と書かれたナンバーを付けている車や「G」と書かれたTシャツを着ている人を多く見かけました。

そのくらい熱狂的なファンが多く、アメフトのシーズンでは大学内の9万人収容のスタジアムが満席になるそうです。

(□大学の北側のダウンタウンに面した場所には歴史的な建造物が多く見られ、1785年に設立したUGAの長い歴史を感じることができます。

この大学のシンボルであるUGAアーチは、「アーチの下をくぐると試験に落ちる」「卒業できない」という言い伝えがあり、学生はこのアーチの両脇を通るそうです。



ジョージア大学は16の教育機関で構成されており、その一つが獣医学部である College of Veterinary Medicine(CVM)です。

CVMは1946年に設立され、1学年114人の学生と、73人の教員からなります。

この病院は去年の3月にできたばかりで、まだまだ新しく、数億円するという放射線治療機器があるなど医療機器は充実しており、また迷子になるくらい広い病院でした。



今回宿泊したUGAホテルはジョージア大学内にあるホテルで、2人1部屋で宿泊しました。

ホテル内には2つのレストラン、自動販売機、バーがありました。

また洗濯機と乾燥機があったので、友達と一緒に衣服を洗濯しました。

UGAホテルには午後10時まで利用できる12人乗りのバンがあり、2マイル以内であればフロントのコンシェルジュに行き先を伝えれば行きたいところに連れて行ってくれます。

ダウンタウンに食事に行く時や日用品をスーパーに買いに行く時などにとっても便利でした。

# SCHEDULEA

8/13(SAT)	アトランタ到着→UGA到着
8/14(SUN)	Dr. Mary Hondalus宅にて夕食
8/15(MON)	オリエンテーション、大学案内、UGA学生と夕食
8/16(TUE)	クリニカル・ローテーション
8/17(WED)	クリニカル・ローテーション
8/18(THU)	クリニカル・ローテーション、Terrapin
8/19(FRI)	クリニカル・ローテーション、UGA学生と夕食
8/20(SAT)	カラオケパーティー
8/21(SUN)	Dr. Bob Gogal宅でプールパーティー
8/22(MON)	クリニカル・ローテーション
8/23(TUE)	クリニカル・ローテーション
8/24(WED)	クリニカル・ローテーション、UGA学生と夕食
8/25(THU)	クリニカル・ローテーション、Dr. Brown宅にて夕食
8/26(FRI)	ジョージア水族館、コカコーラミュージアム、アトランタ泊
8/27(SAT)	アトランタ発

これが今回の海外研修のスケジュールです。

大学病院での実習となるクリニカルローテーションは、基本的に月曜日～金曜日の8時から16時にあり、今回の実習では8日間ありました

。クリニカルローテーション以外にもジョージア大学のコーディネータの方や多くの学生が私たちをいろいろなお店や観光地に連れて行ってくださり、とても充実したスケジュールとなりました。

また、当初のスケジュール以外にも、向こうで出会った日本人の先生とご飯に行ったり、学生が主催するパーティーに招かれることもありました。

# CLINICAL ROTATIONS

- **OPHTHALMOLOGY**【眼科】
- **GENERAL THERIOGENOLOGY**【繁殖】
- **ONCOLOGY**【腫瘍科】
- **EXOTIC ANIMAL**【エキゾチックアニマル】
- **SMALL ANIMAL INTERNAL MEDICINE**【小動物内科】
- **SMALL ANIMAL GENERAL SURGERY**【小動物外科】
- **DIAGNOSTIC PATHOLOGY**【診断病理】
- **LARGE ANIMAL INTERNAL MEDICINE**【大動物内科】
- **EMERGENCY AND CRITICAL CARE**【救急救命】



次に、大学病院での病院実習である臨床・ローテーションについて説明します。今回の臨床ローテーションでは、眼科、繁殖、腫瘍科、エキゾチックアニマル、小動物内科・外科、診断病理、大動物内科、救急救命で研修をさせていただきました。ここに書いてある以外にもまだまだいろいろな科はあるので、希望すれば見学は可能です。



# 眼科 *OPHTHALMOLOGY*



私は眼科で研修を受けました。  
眼科は教授が2人、研修医が3人いて毎日診察が15件～20件ある忙しい科です。この緑色のスクラブがドクターで黒いスクラブがVT、それ以外が学生です。

## 大動物



眼科は内科の1つではなく、1つの科として確立されていて、  
眼の疾患なら大動物も小動物もどちらも診察します。  
大動物の場合往診にも行きます。  
これは馬の眼球摘出の手術の様子です。  
病院が建てられたばかりということもありますが、  
大動物でもきれいなオペ室です。



大動物の麻酔覚醒は動物が暴れて危険なので  
このような隔離部屋で行っていました。  
動物の下はエアベッドのようにになっていて暴れてもけがをしにくくなっています。  
人も2階からのぞけるようになっているので安心です。

## 小動物



ここは小動物の手術室です。顕微鏡など最新の設備が整っていて、学生は自由に見学することができます。手術は一日3件くらいやるときもありました。麻酔は麻酔科がいるので安心して任せられます。眼科に限らずアメリカでは学生が問診や検査を担当しているので実技も専門の知識も日本の学生よりレベルが高いと感じました。眼科は以上です。

# THERIOGENOROLOGY

- 往診

- 牛の精液検査

- 奇形検査や活力検査など

- 牛・ヤギ・アルパカなどの妊娠診断

- エコーによる検査(経皮・経直腸)

- 病院での診察

- 犬の精液検査・膣スミアによる性周期診断

- 実習

- 馬の直腸検査



# THERIOGENOROgy

## • DOG SHOW ! !



# 腫瘍科 (**Oncology**) について...

- 教職員兼獣医師(5人)  
(**Dr. Northup, Dr. Saba, Dr. Clarke, Dr. Nagata, Dr. Laver**)
- レジデント(2人)  
(**Dr. Prudik, Dr. Alexander**)
- 腫瘍科専属のVT(6人)
- 学生(4人)



1日の流れ

(ER)

①



②

診療



③

Evening Rounds

(カルテの書き上げ、論文検索 etc)





**ZOO MED**

WILD LIFE AND EXOTIC ANIMAL



# ZOO MED

- 獣医師 3人



# ZOO MED

- ウサギの抜歯、外歯塵の手術
- 骨折したワシ・タカのレントゲン撮影
- インコの上部消化管造影
- **SANDY CREEK NATURE CENTER**でのヘビ、トカゲなどの往診
- 腫瘍ができたオウムの子の細胞診
- フェレットの予防接種



# ヘビの手術



# 内科

中国第二部  
高田其志



## 内科の人達



# 内科の活動

Internal Medicine Patients

Date	Case #	REF REC TF	Patient	Owner	Signalment	Onset	Student	Ward	Problems/Diagnoses	Plan	Significance/needed Data
8/20	263053	TF	Cassie	McNeely	4 yr FS Golden	Acute	Joey	IMC	diabetes, vasculitis	test for vasculitis	SCC, chemistry
8/23	262806	REF	Trippy	Ward	1.5 yr M Franchise	Acute	Pat L	IMC	dx: bile acids	dx: liver after 30 days at 8/20	SCC, PCP/T
8/23	262808	REF	Cha Cha	Ryon	10 yr FS Shih-tzu x	Acute	Crystal	Ward	rectal mass, hematochezia	prep and colonoscopy 8/28	SCC, colon
8/23	263083	TF	Sophie	Arlunaz	3 yr FS-K9 Mix	Parkinson's	Pat L	ICU	regenerative anemia, thrombocytopenia	immunosuppressive therapy	SCC, CBC
8/24	261089	TF	Sugar Bear	Merham	6y MC Newfie	Parkinson's	Virginia	IMC	Agonemia, Thrombocytopenia		SCC, urine panel
8/20	263045	TF	Cheeto	Brooks	4 yr MC DSH	Jacobs	Philly	IMC	urethral obstruction, 3rd-4th obstructive disease	monitor re and sub. status	SCC, post urinary catheter
8/23	262807	REF	Gigi	Waggoner	11 yr FS DLH	Jacobs	Pat S	0-121	hyperthyroid	rx: med and 1-31 8/24	

# GENERAL SURGERY







# 見学したオペの一部

- ◆ 卵巣子宮摘出術
- ◆ 乳腺摘出術
- ◆ 胆嚢切除
- ◆ 膀胱切開
- ◆ 肛門嚢切除術
- ◆ 会陰部尿道瘻形成術
- ◆ 断脚
- ◆ 唾液腺切除術
- ◆ 膵臓切除
- ◆ 胃腹壁固定術
- ◆ 肝臓バイオプシー
- ◆ 部分的上顎骨切除術
- ◆ 白内障手術
- ◆ TPLO

ETC..

# **PATHOLOGY**

## **DIAGNOSTIC PATHOLOGY CLASS**



# 病理学研究室のスケジュール

Week 1	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Morning		Hematology	Hematology	Hematology	Urinalysis
Afternoon		necropsy	necropsy	necropsy	necropsy

Week 2	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Morning	Effusions cases	CBC/Chem/UA cases	Lumps & Bumps cases	Complete Clinical Cases presentations	
Afternoon		necropsy	necropsy	necropsy	

# 講義室の様子



# UGAの病理解剖施設



## UGAの病理解剖施設



# NECROPSY



















今回、引率して下さった和田先生には大変お世話になりました。  
本当にありがとうございました。



さらにジョージア大学の研修では他大学の人とも交流できるというメリットもあります。今回の研修では、鹿児島大学と山口大学の人たちと一緒に2週間を過ごし、空き時間などは一緒に買い物したり、ご飯を食べに行ったりしました。現在青森県十和田市という僻地にいる私たちはなかなか他大学の獣医学部生と交流する機会は少ないと思います。ジョージア大学研修に行けば、アメリカの獣医学教育がどんなものか知ることができるのはもちろんですが、日本の他大学についても同時に知ることもできます。





また、ジョージア大学で働いている日本人の先生である永田先生が正式にお願いしていないにもかかわらず、昼の休憩時間や夜にレストランや買い物に連れて行ってくださったり、病院内を隅から隅まで案内してくださりととても助かりました。来年ジョージアに行く人は、とても気さくな方なのでぜひ話しかけてみてください。



この発表を聞いて、少しでもジョージアに興味をもって、来年行きたいと思ってくれたらうれしいです。

私たちがジョージア大学に行く前はいろいろ不安が多かったですが、研修を終え、帰国した今ではとても有意義でたくさんのものを得られた2週間だと思っています。来年の夏、たくさんの思い出をつくりたい人はジョージア大学に行くことをおすすめします。

これで発表を終わります。